

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION

ゆっくり本を楽しむ

11月 図書館カレンダー

2025 年 November

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

- 休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）、図書整理日
- お話し：11月8日 午前10時30分～11時30分
工作「秋を折ろう」

ホームページでは、利用案内や図書検索など
図書館の情報を掲載しています▶



☎ 図書館 ☎ 029-897-0647

ぬいぐるみたちのお泊り会

お気に入りのぬいぐるみを図書館にお泊りさせてみませんか？あなたのぬいぐるみが夜の図書館を探検します。お泊りの様子は、ぬいぐるみのチェックアウト時にアルバムにしてプレゼントします。

◆チェックイン（図書館本館）

日時：12月7日 午前10時30分

司書による絵本の読み聞かせ後、ぬいぐるみをお預かりします
ご都合の悪い方は、午前9時～午後5時までの間にチェックイン
（小学校・義務教育学校6年生までのお子さまは保護者同伴必須）

◆チェックアウト（図書館本館）

日時：12月10日 午前9時～午後8時

12月11日 午前9時～午後6時

●場所：図書館本館（霞ヶ浦コミュニティセンター（旧あじさい館）内）

●対象：市内在住の3歳から高校3年生まで ※当事業を未体験の方に限る

●定員：10人（1人につきぬいぐるみ1体）

※応募者多数の場合は抽選を行い、図書館ホームページおよび館内掲示にて、
当選者番号を発表

●申込：図書館本館・分館カウンターに応募用紙を提出または図書館本館に電話

●締切：11月21日 午後4時30分まで

うにゅも
遊びにいくよ♪



図書館ボランティアのご案内

- 「石のスープの会」は、毎週第2土曜日にお話を開催しています。
- 「つくしんぼ」は、児童クラブ・保育所などへ読み聞かせを行っています。
- 図書整理「ひばりの会」、本を通して交流を深める「読書会」が活発に活動しています。



歴史
に
ふ
れ
る

歩崎観音の大祭

歩崎観音は昭和8年（1933）、県指定名勝の第1号となった名勝地「歩崎」に所在しています。参道を進むと見えてくる本堂は、太平洋戦争時の空襲による爆風で傾き、今でも2本の丸太が裏から支え続けており、往時の空襲の激しさを伝えています。「歩崎の晩鐘」として有名だった釣鐘は戦争時に供出されましたが、平成8年（1996）に集落の方々により平和への願いを込め新たに铸造・奉納され「開運の鐘」と名付けられました。本堂のすぐ傍に下げられており、誰でも撞くことができます。

歩崎観音の大祭は、地元をはじめ霞ヶ浦沿岸各村にとっても一大行事でした。霞ヶ浦に堤防ができる前は、各村からひょっとこやおかめの面を着けた若者が囃子船で10隻以上も集まり、一日中盛り上がったそうです。昭和32年（1957）カンヌ映画祭出品作で、同年にブルーリボン賞を獲得した映画「米」には、この場面が登場します。

8月16日、歩崎観音の大祭が、地元の魅力向上を目指す志戸崎集落運営委員会を中心に執り行われました。今回は歩崎観音と大祭について、市民学芸員の貝塚久美子さんが紹介してくれました。

戦後80年となる令和7年の大祭は、幕開けに和太鼓同好会「あゆみ太鼓」の勇壮な演奏が境内に響き渡り、時とともに歴史を刻んできた鐘の音を合図に大祭が始まり、本尊の十一面菩薩立像のご開帳・護摩焚き法要と、厳かに進んでいきました。遠方からの参拝者も多く、境内は大変賑わいました。集落で守ってきた大祭は、後世に残すべき民俗文化です。途絶えてしまうことのないよう、時代に即した形で伝えていきたいものです。

☎ 歴史博物館

☎ 029-896-0017



「あゆみ太鼓」の演奏



護摩焚き法要

人生の 先輩

健康の秘訣をお聞きました

健康維持の第一歩！ シルバーリハビリ体操



シルバーリハビリ体操は、道具を使わずに、いつでも、どこでも、気軽にできる体操です。市内5カ所で定期的に行っているこの体操は、地域住民の健康づくりの柱となっています。シルバーリハビリ体操指導士の会会長の村松章好さんは「多くの方が日常的に介護予防ができるようになるのはもちろん、地域の仲間とふれあうことで心の健康にもつながるこの体操を広げていきたい」と語ってくれました。

「人生の先輩」への掲載を募集しています。

対象▶市内在住の65歳以上の方

応募▶情報広報課までお電話にてご連絡ください。

右記の二次元コードからのご応募も可能です。

掲載人数を超えた場合は抽選となり、もれた場合は翌月以降に再抽選します。



☎ 情報広報課（霞ヶ浦庁舎）
☎ 029-897-1111

▲詳細

文芸ひろば 投稿作品

WEBで投稿
できます



千代田俳句同好会	味噌汁の秋茄子丸くひと口に	今井守
天高し弧を描き飛ぶ鷺二羽	大西周	
天高く里のたからは筑波山	加藤貞江	
長崎の平和公園空高し	北原千恵子	
九月尽常陸穴倉空也堂	神原清志	
鈴なりの柿の実ばると落ちにけり	桜井愛子	
出島短歌会	ひこばえの青き兩岸一ノ瀬に添いて走れば清し秋風	華師寺玲子
気がつけば内出血をしておりぬ若きにはなきと腕を愛しむ	仲谷香代子	
ひぐらしや一夏きりの麗しき赴くまにわれのうつし世	鈴木隆夫	
猛暑ゆえ外出はままならぬなり蟬しぐれ聞く昼のしずもり	岡田恭子	
紫陽花俳句会	新米を丁寧洗ふ米寿かな	久保庭悦子
懐かしき秋刀魚の味のほろ苦さ	島田和子	
新米と言ふ喜びにしばし食む	島田昌男	
投稿作品	夏祭り老若男女和やかにやぐらを囲み舞い至福時間へと	高野新一
強く生きやしく生きる人生にわれを励ます妹の言葉	矢口哲雄	
日だまりに響きわたる孫の声願いを込めて夫に届け	飯島すみ子	
夏風邪の癒えぬまま入る涙の仰ぐ前穂の嶺の高さよ	中島良平	
打水に縁台だして夕涼み虫の声など遠いまぼろし	中村耕二	
秋刀魚食ふ最後の備蓄米で食ふ	中村耕二	
刻は九時離れし母と月見かな	竹村啓子	
金風も鷗も集ふ白帆かな	兼西清治	

投稿作品（俳句・短歌・川柳）を募集します。11月5日 までに秘書広報課（〒315-8512 上土田461）へお願いします。

※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。